

令和5年7月25日

関係団体 各位

中央職業能力開発協会
技能検定部

令和5年度「技能検定制度の活用状況・ニーズ等」に関する実態調査
の協力依頼について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から当協会の事業運営にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では平成21年度から技能検定制度について、より多くの方々に活用していただけるように技能検定制度の活用促進、状況把握等を目的に、調査を実施してまいりました。調査結果をもとに、検定制度の活用促進や制度の見直し等に活用してまいりました。

令和5年度については、ニーズに即した当該制度の的確な普及推進や良質な試験問題の作成、ひいては受検申請者数の増加等に資するため、技能検定の認知状況や受検の有無とその要因、受検のメリット、技能検定合格者の処遇、技能検定制度への要望事項や技能検定の活用状況等について、別紙の内容で技能検定に関する調査を実施することいたしました。調査にあたっては、貴会の会員企業等にアンケートについて、ご協力をお願いしたいと考えております。お手数ですが、調査の回答等について、周知等についてご協力いただきますようお願いいたします。

調査の実施については、一般社団法人全国技能士会連合会に委託して実施いたしますので、同連合会の担当者より貴会にご連絡話致しますのでよろしくお願いいたします。

今後とも当協会の事業運営について、ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白

(委託先)

一般社団法人全国技能士会連合会

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町13番地

東京都洋服会館6階

TEL：03-5946-8791 FAX：03-5946-8792

E-mail：info@takuminowaza.net

担当者：事務局長 佐藤 克司

(別紙)

令和5年度「技能検定制度の活用状況・ニーズ等」に関する 実態調査について

1. 趣旨・目的

技能検定制度試験は50年以上にわたり、都道府県方式で合格者総数約500万人以上の技能士を送り出してきたところです。技能検定制度試験に合格した技能士は、優れた製品を安全かつ効率的に製造することにより、産業競争力の維持・発展に貢献してきました。

しかしながら、日本人の受検申請者数は減少傾向にあるため、受検を奨励している事業所及び奨励していない事業所に対し、技能検定の認知状況や受検の有無とその要因、受検のメリット、技能検定制度合格者の処遇、技能検定制度の要望等についてアンケート調査を行い、特に参考になると思われる事業所には、ヒアリング調査を行うこととし、ニーズに即した当該制度の的確な普及推進や良質な試験問題の作成、ひいては受検申請者数の増加等に資するため。

2. 概要

ア. 調査対象職種

基本的に、製造業に係る職種（製造設備整備関係職種）を対象

イ. 調査対象者

上記ア. の各職種(作業)に係る業界団体に所属する事業所

ウ. 調査方法

アンケート及びヒアリング調査

エ. 調査概要

- ①アンケート回答者の基本情報（企業名、役職、業種 等）
- ②技能検定制度の認知状況
- ③技能検定制度試験の受検の有無、要因等
- ④技能検定制度に求められるもの、活用のメリット等
- ⑤技能検定制度に係る教育訓練の状況、合格者の処遇等
- ⑥技能検定制度への意見・要望 等

オ. 調査方法

Webサイトにアンケート調査票

全技連「匠の技ネット」<https://www.takuminowaza.net/>

3. 調査期間

令和5年8月～令和6年1月

調査報告書については、令和6年3月までに取りまとめます。